

健康状態等自己申告書（12/2（木）、12/3（金）、12/4（土））

※ 来場日に○を付け、来場時に受付に提出して確認を受けてください。各日提出して下さい。

記入日： 令和 年 月 日

氏 名： _____

所 属： _____

連絡先電話番号： _____

2021 年室内環境学会学術大会への参加にあたり、下記を申告いたします（注 1）。

申告項目	内容	はい	いいえ
1. ワクチン・検査パッケージ（注 2）	COVID-19 のワクチン接種済み、あるいは COVID-19 に関する検査を実施済み（PCR 検査は初回来場の 72 時間以内、抗原定性検査は初回来場の 24 時間以内）	☐	☐
2. 本日から 14 日前以内の状況（注 4）	COVID-19 の「濃厚接触者」と判断された	☐	☐
	自身あるいは同居家族に感冒様症状（発熱、倦怠感、咳、呼吸苦など）があった（注 1）	☐	☐
	入国規制のある国や地域から帰国した	☐	☐
3. 学会参加時の体調（注 4）	37.5 度以上の発熱、あるいは平熱より 1 度以上の発熱がある	☐	☐
	感冒様症状（倦怠感、咳、呼吸苦など）がある	☐	☐
	嗅覚異常や味覚異常がある	☐	☐
4. 来場時の感染予防策	マスクを着用している（不織布マスクを強く推奨）（注 3）（注 5）	☐	☐

注 1）次頁の参加予定者の学術大会参加基準をご参照下さい。

注 2）申告 1については、初回受付時（ネームカード配布時）のみ証明書を提示してください。

注 3）マスクを着用できない場合は、受付で理由を申し出て下さい。

注 4）学術大会参加時（会期中を含めて）に、上記の申告 2 および申告 3 に該当する項目が 1 つ以上あった場合、速やかに学術大会実行委員会（受付、控え室等）に申し出て下さい。その後の学会への参加あるいは保健所等への連絡については、学術大会実行委員会の指示に従ってください。

注 5）申告 4 については、マスクの品質や着用状況でウイルス除去効果が大きく異なることが報告されています。布マスクやウレタンマスクは除去効率が低いと報告されています。すべての人が不織布マスクを適切に着けることが感染防止には有効と考えられています（日本感染症学会からのメッセージ 2021 年 8 月 6 日付）。

(参考)

参加予定者の学術大会参加基準（以下の条件に該当する方のみ現地参加可能、それ以外の方はオンライン参加）

1) ワクチン・検査パッケージの該当者

ワクチン接種歴または検査歴	参加可能な条件
COVID-19 のワクチン接種済み	・ COVID-19 用のワクチンを 2 回接種したことを証明する <u>予防接種済証（ワクチン接種記録書等）※</u> （海外での接種者については、その国で発行された接種済証）を会場の受付に提示
COVID-19 に関する検査を実施済み	・ PCR の検査結果（来場の 72 時間以内）が陰性であることの証明書類※を会場の受付に提示 ・ 抗原定性検査（医療機器の承認を受けた製品に限る）（来場の 24 時間以内）が陰性であることの証明書類※を会場の受付に提示

※ワクチン接種歴または検査歴の証明書類はコピーや電子媒体で撮影した写真の提示も可能。

※ワクチン接種歴または検査歴の証明書類の提示は初回受付時のみとし、その翌日以降は健康状態等自己申告書で各日申告する。

※ワクチンの効果は完全ではなく、接種しても感染し、他の人に感染させる可能性がある。また、検査結果が陰性でも感染していたり、他の人に感染させる可能性があることにも留意する。

2) ワクチン・検査パッケージの非該当者

体調等の状況	参加可能な条件
COVID-19 の診断歴あり	・ 発症（または診断確定）後 10 日以上経過している ・ 解熱後 72 時間以上経過し（解熱剤を含む症状緩和のための服薬がない）、発熱以外の症状（咳・倦怠感・呼吸苦等）が改善傾向にある
参加前に発熱や感冒様症状があった	・ 発症後 8 日以上経過している ・ 解熱後 72 時間以上経過し（解熱剤を含む症状緩和のための服薬がない）、発熱以外の症状（咳・倦怠感・呼吸苦等）が改善傾向にある
参加前に濃厚接触者と判断された	濃厚接触者と判断された日から 14 日以上経過している
入国規制のある国や地域からの帰国者	帰国後 14 日以上経過しており、その間無症状
上記のいずれにも該当しない	条件なしで参加可能